

## Dialogue 23 Setting conditions

### -もし～ならどうするかをいう-

#### 教室での活動案

アクティビティ名：「**もしも・もしも**」

絵を用いて、ある条件での行動を言う活動。

- 1) 天気絵と、行動絵を提示し、それぞれの絵を見ながら生徒と一緒に英語で言い、発音を確認する。

天気絵： fine「太陽」, cloudy「雲」, rain「雨」, snow「雪」,  
cold「凍える絵」, hot「汗をかいている絵」

行動絵： go on a picnic「ピクニック」, go swimming「海で泳ぐ絵」,  
go skiing「スキーの絵」, go for a walk「犬と散歩する絵」,  
read a book at home「室内で本を読む絵」,  
eat *oden*「熱いおでんをほおぼる絵」, read comics「マンガを読む」,  
play video games「テレビゲームをする」, watch TV「テレビを見る」,  
play soccer「サッカーをする」, play with friends「友達と遊ぶ」,  
go to an amusement park「遊園地に行く」, go to a zoo「動物園に行く」,  
study「勉強する」, do my homework「宿題をする」 など。

#### \*注意\*

fine(天気が良い), cloudy(曇っている)などは形容詞です。そこで、文の語順は  
“If it is fine/cloudy, ~.”となり、この場合はbe動詞が必要です。一方、rain(雨が降る),  
snow(雪が降る)などは動詞です。文の語順は “If it rains/snows, ~.”となり、be動詞  
は要りません。その代わりに、3人称単数現在の主語に対応するため、動詞の語末にs  
をつけ rains, snows とするのです。

- 2) 教師は、“If it’s fine on Sunday, I’ll(=I will) go on a picnic.” と自分について述べる。  
ピクニックの絵を太陽の絵の下に貼り付ける。  
生徒に “What do you want to do if it’s fine on Sunday, A (生徒の名)?” と聞く。

3) 生徒は “If it’s fine, I’ll(=I will) go for a walk.”などと答える。

4) 生徒に天気絵と行動絵を配り、ペアやグループで上と同じ活動を行わせる。行動絵をさらに増やすとさらに良い。たとえば、学校近くの店や公園、遊園地などの名前を挙げるなど。

例：

教師) If it’s fine on Sunday, I’ll(=I will) go for a walk. What do you want to do if it’s fine on Sunday, class?

生徒 A) Go on a picnic.

教師) Good. Repeat after me. If it’s fine on Sunday, A will go on a picnic.

生徒全員) If it’s fine on Sunday, A will go on a picnic.

教師) Very good. Then, what do you want to do if it rains on Sunday, class?

生徒 B) Read a book at home.

教師) That’s a good idea. Repeat after me. If it rains on Sunday, B will read a book at home.

生徒全員) If it rains on Sunday, B will read a book at home.

教師) もし日曜日に天気が良かったら私は散歩に行きます。皆さん、日曜日に天気が良かったら何をしますか。

生徒 A) ピクニックに行く。

教師) いいですね。繰り返してね。もし日曜日に天気が良かったら Aさんはピクニックに行きます。

生徒全員) もし日曜日に天気が良かったら Aさんはピクニックに行きます。

教師) よくできました。それでは、もし日曜日が雨だったら皆さん何をしますか。

生徒 B) 家で本を読むよ。

教師) それはグッドアイデアだね。繰り返そう。もし日曜日雨だったら Bさんは家で本を読みます。

生徒全員) もし日曜日雨だったら Bさんは家で本を読みます。